

インフルエンザ患者報告数が、**警報レベル**を超えました。
～感染拡大防止に努めましょう～

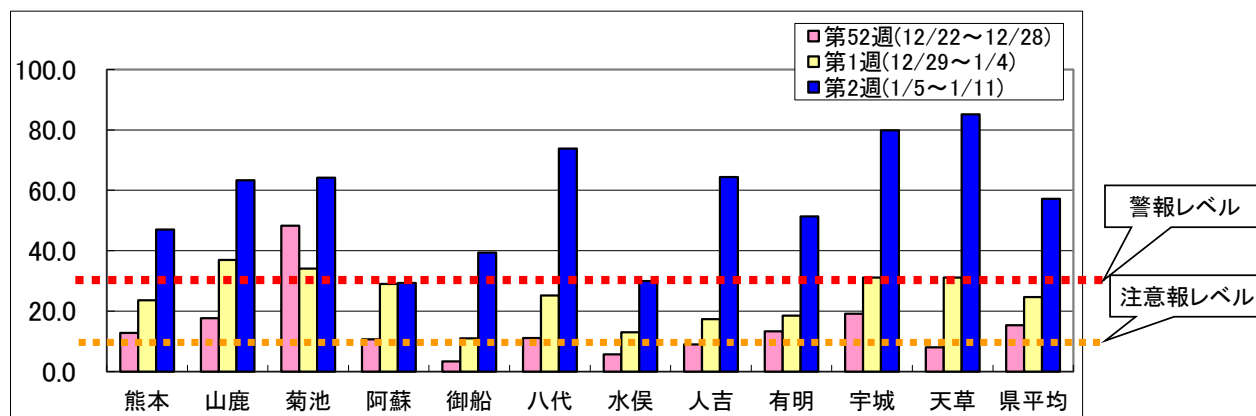
平成27年第2週(1月5日～1月11日)の熊本県感染症発生動向調査で、インフルエンザの定点あたりの患者報告数(※)が、警報の基準値(30.00)を超え、57.23(定点数80カ所、報告数4,578)となりました。今シーズンは、例年より早く流行が始まり、患者報告数も例年より多くなっています。

インフルエンザは、突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。小児や高齢者では肺炎や脳症などを併発して重症になる場合があります。

一人ひとりが正しい知識を身につけて、手洗い、せきエチケットなどインフルエンザ対策をしっかり実行しましょう。特に、医療機関や福祉施設、保育所、幼稚園、学校など集団生活の場では、徹底した感染予防に努めてください。詳しい予防対策は、裏面や国、県のホームページをご覧ください。

※定点あたりの患者報告数…あらかじめ選定された県内80医療機関(定点医療機関)を1週間に受診した患者数の平均

○地域(保健所)別定点あたりの患者報告数



	熊本	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草	県平均	全国
第52週 (12/22~12/28)	12.76	17.67	48.25	10.67	3.40	11.14	5.67	9.00	13.38	19.17	8.00	15.31	26.63
第1週 (12/29~1/4)	23.60	37.00	34.13	29.00	11.00	25.14	13.00	17.40	18.50	31.17	31.14	24.64	21.46
第2週 (1/5~1/11)	47.00	63.33	64.13	29.33	39.40	73.86	30.00	64.40	51.38	79.83	85.14	57.23	

■ 注意報レベルを超えている地域
■ 警報レベルを超えている地域

○インフルエンザ迅速検査情報

第2週に報告のあった4,578件のうち4,416件についての迅速検査の診断情報

インフルエンザ A型 : 4,334件(98.1%)
インフルエンザ B型 : 12件(0.3%)
インフルエンザ型不明 : 70件(1.6%)

連絡先 健康危機管理課
直通 096-333-2240
内線 7085, 7080
(感染症・新型インフルエンザ対策班)
担当: 友枝・椎場

《参考》

厚生労働省ホームページ「インフルエンザに関する情報」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html>
熊本県ホームページ「インフルエンザ総合情報ホームページ」
<http://www.pref.kumamoto.jp/site/influenzasub/>

(裏面あり)

【全国のインフルエンザ流行状況】

- ① 平成27年第1週（12月29日～1月4日）に定点あたりの患者報告数が「21.46」となりました。
- ② 今シーズンの国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（平成26年第49週～平成27年第1週）ではA香港型の割合が最も多く、次いでB型、AH1pdm09の順で検出されている。

【インフルエンザはどんな病気？】

- ① 突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。
- ② 時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。
- ③ インフルエンザはその年により流行の程度に差がありますが、11月から12月に始まり、翌年の1～3月頃の間には患者が増加します。

【インフルエンザの予防法は？】

- ① 手洗いを習慣づける。
- ② 流行時には人混みを避ける。
- ③ 栄養、休養、睡眠を十分に取る。
- ④ 部屋の換気と保湿（湿度50～60%）に心がける。

【インフルエンザにかかったらどうすればよいの？】

- ① 早めに医療機関を受診して治療を受ける。
日中に症状が出たら、通常の診療時間内に受診しましょう。
- ② 安静にし、十分な休養を。学校や職場へは無理して行かない。
- ③ 水分（お茶、ジュース、スープなど）を十分に補給する。
- ④ 周りの人へうつさないために、マスクをつけ、外出を控える。
- ⑤ **せきエチケット**を守る。

※せきエチケットとは？

～感染の拡大を防ぐための大切なルールです～

- ◆ せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
- ◆ 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- ◆ せきをしているときは、マスクをつけましょう。

【過去のインフルエンザの流行状況】

シーズン	流行入りした週	注意報レベルに達した週（※1）	警報レベルに達した週（※2）	シーズン中、最も報告が多かった週
2014～2015 (今シーズン)	平成26年第50週	平成26年第52週	平成27年第2週	—
2013～2014	平成25年第51週	平成26年第3週	平成26年第5週	平成26年第5週
2012～2013	平成24年第52週	平成25年第3週	警報レベルに達しなかった	平成25年第5週
2011～2012	平成24年第1週	平成24年第3週	平成24年第4週	平成24年第5週

※ 1 注意報レベル・・・定点あたりの患者報告数 10

※ 2 警報レベル・・・定点あたりの患者報告数 30

